

行政評価シート

事務事業名	温泉地観光施設整備事業			事業開始年度	
担当部	産業部	担当課	観光課	担当係	観光立市係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(1) 歴史と文化を活かし交流人口を増やします
施策 (手法)	② 観光資源の発掘活用、整備
取組事項	I. 観光拠点づくり

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	岳温泉街のヒマラヤ通りに賑わいを取り戻すため、市有地である旧アークホテルに岳温泉観光交流広場を整備する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	令和元年度に実施設計を完了し、令和2年度に施設整備工事を実施した。令和3年7月完成予定。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	施設利用者数			指標の単位	人
指標の説明	施設利用者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	令和2年3月実施設計完了 令和3年7月施設整備完了(予定)				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	
【説明】	令和3年6月完成予定、完成後は施設管理を実施。施設を生かした企画やイベントを検討し実施していく。

行政評価シート

事務事業名	道の駅「安達」管理運営事業			事業開始年度	
担当部	安達支所	担当課	地域振興課	担当係	地域振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(1) 歴史と文化を活かし交流人口を増やします
施策 (手法)	② 観光資源の発掘活用、整備
取組事項	I. 観光拠点づくり

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	道路利用者のための休憩機能、道路利用者と地域の為の情報発信機能や地域連携機能を備えた道の駅「安達」を運営することにより地域振興に寄与する。 防災機能強化のため太陽光発電や蓄電設備設置等の非常電源の確保について調査検討を進めるとともに、平成8年の開業以来20年以上経過に伴う様々な施設設備修繕を計画的に行うため、維持修繕計画を策定する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	防災機能強化のために電源を確保するための方策を検討する。 上り線施設は全体的な維持修繕について調査を行い施設修繕計画を策定する
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	防災機能強化のための電源確保の方策の検討	指標の単位	なし		
指標の説明	防災拠点としての非常用電源の確保の検討をする。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②	上り線施設の施設修繕計画の策定	指標の単位	なし		
指標の説明	上り線施設老朽化による修繕計画を策定し、施設の長寿命化を図る。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	国土交通省により上下線にディーゼル発電機が設置されたため、必要な非常用電源は確保されたと考えられる。 修繕計画については、特殊建築物調査結果等を活用することとする。また予防的修繕は行わず必要最低限の修繕とするためその都度予算要求する。				所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	廃止・中止
【説明】	道の駅「安達」については国直轄の道の駅であるため、防災機能強化策について、引き続き所管する国土交通省と協議し必要な措置を講じることとする。

行政評価シート

事務事業名	道の駅「さくらの郷」管理運営事業			事業開始年度	
担当部	岩代支所	担当課	地域振興課	担当係	地域振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(1) 歴史と文化を活かし交流人口を増やします
施策 (手法)	② 観光資源の発掘活用、整備
取組事項	I. 観光拠点づくり

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	令和元年度に体験交流施設を整備し、更に観光拠点づくりを進めた。
-----------------	---------------------------------

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	地域の活性化、交流人口の増加、地域の情報発信に努めた。
------	-----------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	入れ込み客数			指標の単位	人
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	240,000	242,000	244,000	246,000	200,000
実績(見込)値	241,650	242,020	246,390	229,333	200,000
達成度(%)	100.69%	100.01%	100.98%	93.22%	100.00%

指標名②	売上			指標の単位	円
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	104,000,000	105,040,000	106,090,000	107,150,000	100,000,000
実績(見込)値	104,968,227	107,639,869	108,591,772	102,967,802	100,000,000
達成度(%)	100.93%	102.48%	102.36%	96.10%	100.00%

【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった

【説明】	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多少の落ち込みはあるが、それを除けば概ね順調である。	所管課評価
		B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	既存の施設、及び体験交流施設を有効活用し、地域活性化、交流人口の増加、地域の情報発信に努める。

行政評価シート

事務事業名	菊のまち二本松推進事業			事業開始年度	
担当部	産業部	担当課	観光課	担当係	観光振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(1) 歴史と文化を活かし交流人口を増やします
施策 (手法)	② 観光資源の発掘活用、整備
取組事項	Ⅱ. 観光資源の活用

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	菊のまち二本松の伝統を継承する「二本松の菊人形」に対し支援を行うとともに、「稼げる菊づくり」のための基盤づくりの支援を行う。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	菊のまち二本松推進事業への補助
------	-----------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	二本松菊人形への入込客数			指標の単位	人
指標の説明	二本松菊人形への入込客数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	135,000	135,000	110,000	105,000	無料開催のため目標値無し
実績(見込)値	83,575	66,682	80,829	62,293	43,388
達成度(%)	62	49	73	59	-
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	会期日数の減、会期中の天候不順等、不可避要因により、目標とする入込客数を大幅に下回る結果となったが、来場者の評価は近年高くなってきている。 また、稼げる菊づくり事業については概ね計画的に実施できたと考えられる。 R2は、新型コロナウイルス感染症の影響により、菊花展として無料開催とした。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	会期数、天候等に左右される面が大きいですが、会場全体の構成や客足を延ばすイベント等の取り組み、広報宣伝の強化を図りながら目標値に近づける施策を実行するよう実施団体を指導する。 稼げる菊づくり事業にあっては、補助対象年度が31年度までとなっているが、令和2年度以降も継続して取り組む必要があるとともに、伝統継承のための正規職員採用も検討する必要がある。